

聖心女子大学大学院文学研究科人間科学専攻教育研究領域特別講演会

フィンランドにおける“いい親”と“親の責任”に関する保護者の意識

2000年代初頭より「学力世界1の国」として注目を集めているフィンランドで今、子育てにおける“親の責任”に関する議論が白熱しています。フィンランドにおける理想的な親のイメージや家庭教育における親の責任の所在に関する保護者の意識について、この度、フィンランド・アカデミーの研究助成を受けて来日中のユヴァスキュラ大学研究調整官サトゥ・ペララ・リットウネンさんからお話を伺います。

どなたでも参加できます。多くの方のご参加をお待ちしております。

○日 時： 2009年8月27日(木) 11:00～12:30 (10:30開場)

○場 所： 聖心女子大学マリアンホール1階 ブルーパーラー (予定)

○テーマ： 「フィンランドにおける“いい親”と“親の責任”に関する保護者の意識」

(講演は英語による。日本語通訳付き)

○講 師： ユヴァスキュラ大学リサーチコーディネーター

サトゥ・ペララ・リットウネンさん(Dr. Satu Perälä-Littunen)

学歴*1981年 ユヴァスキュラ大学 卒業

1984年 英語教員資格取得

1998年 ユヴァスキュラ大学 修士課程終了

2004年 ユヴァスキュラ大学 博士課程終了(論文“3世代における良い母親と良い父親の文化的イメージ”によりPh.D.学位取得)

職歴*2004-2005年 ユヴァスキュラ大学講師

2005年 ユヴァスキュラ大学 家族研究センター企画官

2006年 ユヴァスキュラ大学 オープンユニバーシティ教員

オープンユニバーシティ企画官

2006-2009年 ユヴァスキュラ大学 リサーチコーディネーター(現職)

主な業績

*Hirsjärvi,S. And Perälä-Littunen,S. 2001. Parental beliefs and their role in child-rearing. European Journal of Psychology of Education, XVI(1), 87-116

*Perälä-Littunen,S. 2007. Gender equality of primacy of the mother? Ambivalent description of good parents. Journal of Marriage and Family 69(2),341-351.

*Böök, M.L. and Perälä-Littunen,S. 2008."Children need their parents more than pizza in the fridge!"Parental responsibility in a Finnish newspaper. Childhood 15(1),75-89

○参加費： 無料 (出席を希望される方は、準備の都合上、8月24日(月)までに下記宛にご氏名とご所属をご連絡ください。)

聖心女子大学文学部教育学科教授 澤野由紀子

sawano@u-sacred-heart.ac.jp